


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和元年 5月27日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第3号	質問議員	13番	石田照子	
件名	防災対策の見直しで更なる強化を				
要 旨					
<p>平成が幕を閉じ、令和の新時代が幕開けしました。</p> <p>新しい時代には明るい未来と幸せな世界を期待しますが、平成という時代は、大きな自然災害が日本列島に悲しい爪痕を残したように感じます。</p> <p>今年で、東日本大震災から8年がたちました。その記憶はまだ新しく街を壊していく津波の映像は、いまだ脳裏に焼き付いて離れません。</p> <p>また、当町に大きな影響をもたらすであろうと思われる断層相模トラフは、神奈川県西部から房総沖に延び、陸と海とにまたがっているため「直下型」と「海溝型」の両方の特徴を有し、激しい揺れとほぼ同時に津波が押し寄せその被害は、東日本大震災より厳しい状況が想定されるといわれています。その相模トラフが引き起こした95年前の関東大震災では、家屋の倒壊や土砂崩れ、液状化、津波、火災等大きな被害をもたらし、山北町でも被害が及んだことは承知と思いますが、世附地区では山が動いたという話を聞いたことがあります。</p> <p>しかし、山を背負う当町は、地震のみならず、大雨による土砂災害、河川の氾濫などの警戒も必要であり、行政の責任は非常に重いと感じます。言うまでもありませんが、自然災害の被害を最小限に食い止めるためには、平時の備えが重要であることから、防災対策の更なる強化が必要と問い質問します。</p>					
<ol style="list-style-type: none">1. 酒匂川が大規模氾濫した場合の浸水想定では、山北町は9メートルを超える極めて深刻な想定結果が出た。広域避難場所の見直しに、町も積極的に関与するべきである。2. 災害弱者が福祉避難所へ直接避難できる対応を取るべきである。					

3. 高齢者など遠方まで歩くことが困難な方々に、地域に密着した施設を積極的に開放するべきである。
4. 現自治会役員が担っている自主防災組織の強化策として、自治会役員OBを組織の一員として位置付けし、意識付けや、知識の確認、蓄積情報提供のために、年1回程度、講習を実施したらどうか。
5. 災害時の情報収集に有効な非常時防災ラジオを導入したらどうか。
6. 7月にオープン予定のドラッグストアから、災害時に液体ミルクや薬剤等の提供を受けられるよう、早急に災害協定を結んではどうか。